

よりよい環境を構築するための教育プログラム
レインフォレスト・ディスカバリー・センター
によるESDのための取組

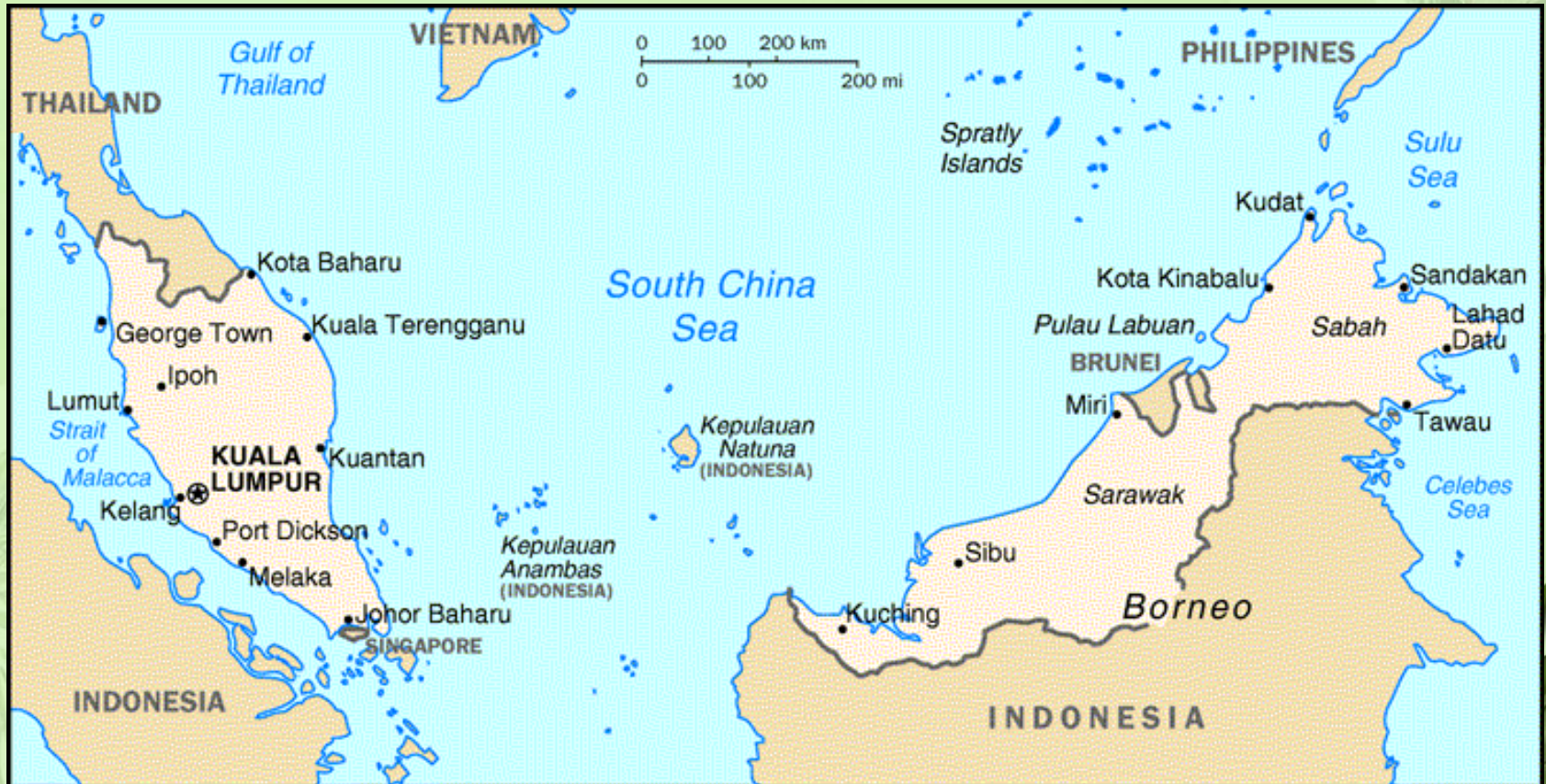
ローライティ・ビンティ・ローリン
サバ州林業局
レインフォレスト・
ディスカバリー・センター

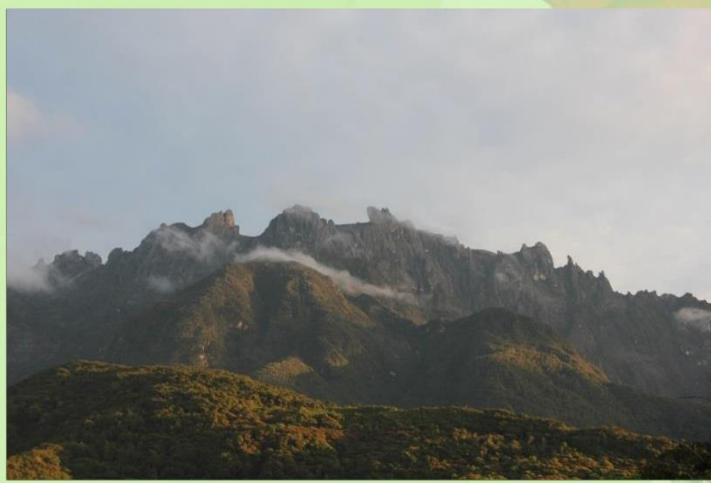


本日の説明内容

- はじめに
 - マレーシアのサバ州について
 - サバ州林業局について
 - 私が勤務するレインフォレスト・ディスカバリー・センター(RDC)について
- 当林業局によるESDのための環境教育（EE）プログラムについて
 - 対象となる学生（就学前児童から高校生まで）
 - 教師のためのトレーニング・コース
（EEに関するコースとしてEERaceを提供）
 - 青少年によるセピロック森林警備隊
 - ESDに関して当林業局が直面する課題
 - SCRAP

マレーシアのサバ州にあるサンダカンの地図





by Dolly MJ

レインフォレスト・ ディスカバリー・センター



RDCについて

- サバ州林業局の運営によるEEを実施するためのセンター
- 当林業局によるEEの定義
- 以下を対象とするEEプログラム
 - － 学生
 - － 教師
- 青少年によるセピロック森林警備隊
- ESDに関して当林業局が直面する課題
 - サンダカン地域リサイクリング・アクション・プログラム (SCRAP)



教育プログラムの提供

自然資源に関する知識

- 水
- 森林
- マングローブ
- 海洋生物
- 動物

環境に対する倫理観

- 環境のケア
- 環境への感謝
- 環境への愛

ESD

- 自然資源の
持続可能な活用

RDCのEEプログラムの目標

- 森林と環境全体の独自性・重要性に対する**一般市民の認識を高める**
- 環境の理解と環境に関する教育を通じて、森林と環境に対する**前向きな取組を促進する**
- 一般市民が迅速かつ適切に環境に関する行動を起こせるように、環境に関する**前向きな価値観を醸成し、環境に関する知識を高める**

小学校の生徒を対象としたESD

持続可能性の考え方を簡単に紹介

- 森林や、その他の自然資源などに対する持続可能性の考え方を紹介するためのゲームや児童参加型の活動を提供



中学生および高校生を対象としたESD

環境問題を解決するためのゲームを通じて、
理論的な思考を促進する

プログラムの例

□ 持続可能な森林の管理



レインフォレスト・ディスカバリー・センター： 自然資源の管理

持続可能性

- 海水魚と淡水魚の資源
- 農地における土壌の保護
(オーガニックな茶葉の栽培)



レインフォレスト・ディスカバリー・センター： 自然資源の管理

野生動物にとっての持続可能な
森林管理の重要性

- オランウータン
- マレーグマ



Heart of Borneo (HoB) でイベントを開催

サバ州林業局がボルネオの森林地帯 (HoB) で実施している活動をHoBの近くで暮らしている生徒向けに紹介し、認知度を高める

ボルネオウンピョウの保護に関する様々な問題 (頭数の減少など) を説明するために、肉食動物の生態系について説明した資料を提供



教師向けのトレーニング・コース(EERace)

- 1997年から2014年にかけて、約850名の教師に対して環境教育に関するトレーニングを提供

ESD

- 自然資源（海洋生物、マングローブの森、持続可能な森林の管理など）の持続可能な活用



EERace

- 魚の養殖とその他の形態の水産資源の養殖



青少年によるセピロック森林警備隊 (SJR)

さまざまな活動を通じて
持続可能性の考え方を教育

- 青少年による森林警備隊が植物を育てる活動を実施 (JR PLANTS)
 - PLAnt for NaTure Sustainability
(植物を通じて自然の持続可能性について考える)
 - 学校の植栽を改善するために販売可能な苗を配布



青少年によるセピロック森林警備隊 (SJR)

野鳥観察

- 将来の世代のために森林を維持することの重要性をSJRが地域を代表する野鳥（特に地域特有の野鳥を含む）の観察を通じて学ぶプログラム



青少年によるセピロック森林警備隊 (SJR)

- キャンプ
 - SJRがさまざまな種類の森林を体験するプログラム



当林業局がESDを実施する理由

生徒と教師にサバ州の自然資源に関する教育を提供し、将来のためにこれらの資源を維持することの重要性を伝える

当林業局がESDを実施する理由

キナバル山

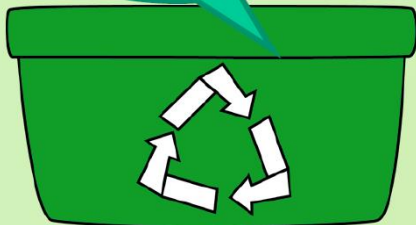


ESDに関して当林業局が直面する課題

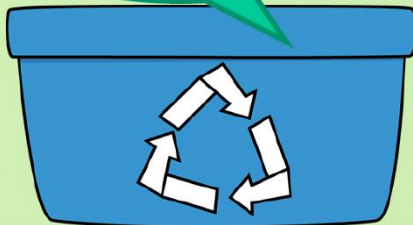
サンダカン地域における当林業局のプログラムを通じてリサイクルを促進すること

- ごみの分別の実施が不十分
 - － 一般市民によるごみの分別の認知度を高めるために多大なコストをかけている
 - － 家庭から収集したごみが分別されないため、全てのごみが地中に埋められている
 - － リサイクル企業へ、分別されたごみがほとんど提供されないため、**コスト効率が低い**

アルミニウム



プラスチック



紙



SCRAP

ー サンダカン地域リサイクリング・アクション・プログラム
(Kogachi Takeshi氏の考えに基づいて構築したプログラム)

- 2013年より実施
- 対象となる主なグループ
 - ー 学校と生徒
- 今後4年から5年にかけての対象
 - 地方の政府機関
 - 一般家庭



本日の説明内容のまとめ

- はじめに

- 当林業局によるESDのためのEEプログラムについて

- 対象となる学生
(就学前児童から高校生まで)
- 教師のためのトレーニング・コース
(EEに関するコースとしてEERaceを提供)
- 青少年によるセピロック森林警備隊
- ESDに関して当林業局が直面する課題
 - SCRAP



教育を通じてよりよい環境を実現します

Me

Benn

May

Arni

Kim



当林業局によるESDに関する活動を
ご紹介する機会を提供くださった

日本政府に

感謝申し上げます

ローライティ・ビンティ・ローリン
サバ州林業局
レインフォレスト・
ディスカバリー・センター

